

第7回高知県社会教育委員会（令和3年4月1日～令和5年3月31日任期）会議概要

令和4年12月26日（月）9:15～10:50

高知県心の教育センター 研修室

出席委員（久寿久美子、竹村淳子、仲村貴介、  
森岡千晴、岩井拓史、川田米實、  
眞鍋大輔、廣末ゆか、斉藤雅洋、  
松田弥花、清國祐二）

1 開会（9:15～9:17）

高知県社会教育委員長挨拶

2 議事（9:17～10:45）

テーマ：「新しい生活様式」の中での社会教育の在り方

（委員長）

今回は、提言（案）のまとめを行う。

事務局が作成した提言（案）について、何か意見はないか。

（委員長）

第2章2「コロナ禍以前から続く高知県の社会教育の現状」について、「高知県」ではなく「本県」にしてはどうか。（目次および6ページ）

（委員）

「様々な社会的な影響を」を「様々な社会的な影響が」としてはどうか。（2ページ3行目）

（委員）

「社会教育活動は、コロナ禍以前の直接対面しての会話であったり、活動を共にしたりするなど、人と人とのつながりを基盤としていました。」と書き換えてはどうか。（5ページ7～9行目）

「イベントの規模縮小や中止など」については、時系列的に中止が先にきてからの規模縮小とつながってきていたはずなので「イベントの中止や規模縮小など」としてはどうか。（5ページ11行目）

「社会教育に携わる人口も少なくなる中、活動の停滞は」を「社会教育活動に携わる人口も少なくなる中、その活動の停滞は」としてはどうか。（5ページ13行目）

「インターネット環境を…」を「ICTを活用した新たなつながりづくりの拡充や、感染防止対策を講じたうえで地域活動の再開をするなど、従来の社会教育の幅を広げる転換期を迎えています」と書き換えてはどうか。（5ページ15～17行目）

（委員）

「悪化してしまうといったことがあったようです」を「悪化してしまうケースがみられました」としてはどうか。（5ページ下から3行目）

「環境充実のきっかけになったことなどがあるようです」を「環境充実のきっかけになりました」としてはどうか。(6 ページ 15 行目)

(事務局)

6 ページ 15 行目の修正を受けて「新しい生活様式」が社会教育現場にもたらした効果には」を「新しい生活様式」は」としてはどうか。(6 ページ 13 行目)

「利用者が使用しやすくなるよう」を「利用者が使用しやすくなるなど、」としてはどうか。(6 ページ 14 行目)

(委員)

「傾向が見られています」を「みられます」としてはどうか。(6 ページ下から 6 行目)

(委員)

「そのため、次の世代に…」から始まる一文は削除してもよいのではないか。(6 ページ下から 5 行目)

「社会教育団体や会員数は大きく減少しています。人口減少もさることながら、地域における団体の在り方も影響を受けていることが考えられます。今後は広く地域の未来を担える人材の発掘や育成が社会教育においても求められていると考えます。」と書き換えてはどうか。(6 ページ下から 3 行)

(委員)

「必要なのか」への修正が必要。(9 ページ 14 行目)

語尾を統一してはどうか。(8～10 ページ)

(委員)

ニューノーマルに「」をつけてはどうか。(10 ページ 6 行目)

(委員長)

「3密を避けることなどを中心とした」を「3密を避けることを中心とした」としてはどうか。(11 ページ 1 行目)

(委員)

「社会教育は新しい局面を迎えています」を「経済活動と同様に社会教育においても交流人口の拡大が社会教育活動の活性化につながります」としてはどうか。(11 ページ下から 9 行目)

(委員)

「元気になっていなくてはいけない」への修正が必要。(13 ページ下から【香美市立香長小学校】の活動 6 行目)

(委員)

「市域の学びの拠点」を「市域における生涯学習の拠点」としてはどうか。(12 ページ【土佐清水市立中央公民館】の活動 1 行目)

「コロナ禍によって」を削除してはどうか。12 ページ【土佐清水市立中央公民館】の活動 2 行目)

(委員)

「知の循環」というキーワードを含む文章を付け加えてはどうか。(11 ページ第 3 章冒頭)

(委員)

「昔遊びなどの多世代間交流」を「多様な多世代間交流」としてはどうか。(12 ページ下から 2 行目)

(委員)

「多様な」や「居場所」という表現が連続しているので、文章を見直してはどうか。(12 ページ下から 4 行)

(委員)

「循環」ではなく、「拡充」や「展開」という表現にしてはどうか。(14 ページ下から 12 行目)

「暖かさ」ではなく、「温かさ」ではないか。(14 ページ下から 9 行目)

「放課後子ども教室」について、文部科学省の学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要綱などでは「放課後子供教室」としているが平仮名表記でもよいものか。(16 ページ上から 13 行目)

(事務局)

高知県教育委員会では、「高知県放課後子ども教室推進事業費補助金交付要綱」など、平仮名表記での「子ども」を使用することで統一している。そのため、今回の提言でも平仮名表記としている。

(委員)

「半数以上の」を「ほとんどの」としてはどうか。(15 ページ 7 行目)

「発表を通して自分達の活動を見つめ直すことができる」というニュアンスの文章を付け加えてはどうか (16 ページ 7～9 行目)

(委員長)

「提供することができます」を「提供することも可能です」としてはどうか。(14 ページ下から 10 行目)

(委員)

第 4 章で挙げる例の主語がわかりづらいように感じる。

「高知県地域コーディネーター研修会の継続実施」を「高知県地域コーディネーター研修会への参加」とすることで統一感が出てくるのではないか。(17 ページ最下段)

(委員)

「まだまだ伸びしろがありそうです」を「住民と共に発展する可能性があります」など、社会教育施設に拡張性があるということを含んだ表現としてはどうか。(11 ページ最下段)

全体的に行間にばらつきがあるので統一させるべき。

(委員)

図 7～10 についての出典元を載せてはどうか。(7 ページ)

(委員長)

以上で協議を終了する。

次回は完成した提言を教育委員会に提出し、教育委員との意見交換会を予定している。

3 閉会 (10:45~10:50)

生涯学習課 課長挨拶